

3. 平成 31 年度昇陽中学校・高等学校 「学校教育計画」及び「学校評価」事業報告  
昇陽中学校・高等学校

平成 31 年度 「学校教育計画」及び「学校評価」

I めざす学校像

<p>建学の精神</p> <p>「奉仕のこころ」</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「For Others～奉仕のこころ～、志高く。」(建学の精神の再確認)</li> <li>2 「10年後の私たちのために」 将来の予測不能な社会を生き抜くことのできる人材づくり</li> </ol> <p>教育目標、めざす生徒像</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 思いやりや感謝の気持ちや「奉仕のこころ」などを素直に表すことのできる高い人間性の育成</li> <li>2 基礎学力を十分に積みあげた上で、自分の頭で課題や問題に向き合うことのできる思考力・判断力の育成</li> <li>3 部活動や学校行事などに努力し共に励まし喜びを分かちあえる豊かな心と健やかな体の育成</li> <li>4 個々の生徒の個性や能力や特性に合わせ、生徒の力を最大限に伸ばし、生徒・保護者に「行きたい・通わせたい」と思われる学校づくりをめざす。</li> </ol>
--

II 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> <li>1 基礎学力の充実から自ら考える力へ 「授業第一主義」             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 基礎学力の充実と「主体的・対話的で深い学びへ」                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 授業学力の充実として宿題・課題とその定着確認を日々行う。また、自習室の設置や放課後、長期休業中の学習促進を図る。</li> <li>イ 「主体的・対話的で深い学び」のために ICT 教育やアクティブラーニングを推進する。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 学校教育自己診断で「授業が分かりやすく学習習慣がしっかりと身につく授業が行われているか」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。</li> </ul> </li> <li>ウ 各コースの目標を設定する。積極的に資格、検定を取得させる。また、進学・特進コースは模試による学力チェックや英語力の向上を図る。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・<u>一部コースの選択分野を広げ、生徒の可能性を最大限に育成する新コースの設置準備を行う。</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 学校教育自己診断で「生徒が資格（英検・漢検など）取得できるように、熱心に取り組んでいる。」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。</li> </ul> </li> <li>・<u>全てのコースで生徒の基礎学力および応用的な学力向上のための取組みを積極的におこなう。</u></li> </ul> </li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2 知・徳・体のバランスの取れた教育と豊かな人間性の醸成 「生徒指導なくして学習指導なし」             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業に集中できる学習環境、授業規律や生活習慣の改善                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 時間の厳守、挨拶、身だしなみを整えさせる。予鈴の実施で「ベル始業」を徹底させる。                     <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 学校教育自己診断で「日頃から日常生活のマナーや社会人のルールを守るように取り組んでいる。」を平成 30 年度は昨年度比 5 ポイント上げる。</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>(2) 人権意識の醸成                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 人権研修（生徒向け、教職員向け）の実施（差別、ハラスメント、SNS、いじめ等多様な人権教育の指導）</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>3 学び連携できる教員集団             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業力向上の取組み                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 相互授業見学や研究授業・研究討議で授業力向上に努める。また、積極的に外部研修や外部視察を行い、授業力向上の方法や学校運営方法などを学ぶ。</li> <li>イ 若手教員研修の定期的実施</li> </ol> </li> <li>(2) 各種研修の実施                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 高大連携や新学習指導要領や e ポートフォリオなどの研修や人権関係やサービスなどの研修を実施する。</li> </ol> </li> <li>(3) その他                 <ol style="list-style-type: none"> <li>ア 「チーム昇陽」の構築…組織運営の意識を持つ。小会議やミーティングやケース会議の実施。</li> <li>イ コンプライアンス（法令遵守）を徹底させる</li> <li>ウ ホームページの充実（記録、更新の促進）</li> </ol> </li> </ol> </li> </ol>
--

Ⅲ 本年度の取組み内容及び自己評価

	今年度の重点目標	具体的な取組み計画・内容	評価指標	自己評価
1 基礎学力の充実から自ら考える力へ	<p>ア 基礎学力の充実</p> <p>イ「主体的・対話的で深い学び」の実践</p> <p>ウ 各コースの目標設定・取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題・課題とその定着確認</li> <li>・自習室の設置</li> <li>・<u>「すらら」やドリル教材による学び直し（高1）</u></li> <li>・放課後、長期休業中の講習の充実</li> <li>・朝のHRに朝読と朝テスト</li> <li>・<u>ICT教育やアクティブラーニングの施設整備と研究授業実施</u></li> <li>・朝読の充実</li> <li>・<u>ベルリッツ導入による2技能強化</u></li> <li>・英検、GTECの充実</li> <li>・英検、数検、漢検の受検促進</li> <li>・特進、進学コースの進路実現</li> <li>・進路決定率を高める</li> <li>・就職・公務員希望者の進路実現・<u>模試による学力評価</u></li> <li>・パティシエコースに製菓衛生師資格取得へ</li> <li>・福祉コースの進路実現</li> <li>・中学校において英検・漢検・数検を更に受験させ、実績を上げる。</li> <li>・<u>放課後、昇陽塾を開き、個々の生徒の学力に応じた指導をおこなう。</u></li> <li>・<u>新コースの設置準備を行う</u></li> <li>・<u>各コースのカリキュラム変更準備</u></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育自己診断での生徒の「授業関係」肯定的評価5%上げる。</li> <li>・講習の開講日数および参加者増加</li> <li>・<u>ICT教育関係施設整備状況及び研究授業実施状況</u> <u>黒板からホワイトボードへ</u></li> <li>・ICT機器の導入</li> <li>・朝読の定着率50%以上</li> <li>・<u>受験者数増加</u></li> <li>・<u>難関私立大学合格者数</u></li> <li>・<u>就職希望内定率を上げる</u></li> <li>・公務員試験合格率昨年比70%以上</li> <li>・<u>介護福祉士国家試験合格率70%以上</u></li> <li>・中学校英検等、昨年度以上</li> <li>・学校教育自己診断での「進路指導」関係評価5%上げる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・肯定的評価▲5%</li> <li>・夏期講習20日◎(374名)</li> <li>・冬期講習8日◎(110名)</li> <li>・東全館ホワイトボードとプロジェクター設置◎</li> <li>・朝読定着率46%△</li> <li>・ベルリッツ導入○</li> <li>・GTEC1, 2学年全員受験◎</li> <li>・産近甲龍大学一般入試合格◎</li> <li>・就職希望者内定率100%◎</li> <li>・介護福祉士国家試験合格率80%◎</li> <li>・中学校英検3級以上19名(昨年18名)、漢検4名(昨年8名)、数検7名(昨年3名)○</li> <li>・進路関係▲2%</li> <li>・新コース立上げ◎</li> <li>・新コース立上げにより高校新1年生296人入学◎</li> <li>・各コースのカリキュラム見直し◎</li> </ul>

<p>2 知・徳・体の教育と豊かな人間性の醸成</p>	<p>ア 授業に集中できる学習環境と授業規律</p> <p>イ 人権意識の醸成</p> <p>ウ 学校行事や地域ボランティア、部活動指導の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒による挨拶運動の実施</li> <li>・予鈴や入室指導の継続</li> <li>・遅刻指導の実施</li> <li>・通学指導の実施</li> <li>・生徒、教職員向け人権研修の実施 (SNS、ハラスメント等の研修)</li> <li>・強化クラブの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週1回生徒会、部員による挨拶運動実施</li> <li>・教員による入室指導後ベル始業の徹底</li> <li>・学校教育自己診断「生徒指導関係」肯定的評価5%上げる</li> <li>・<u>遅刻件数を昨年度比 30%減少</u></li> <li>・強化クラブの全国レベル大会出場</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・挨拶運動 強化クラブ実施○</li> <li>・ベル指導○</li> <li>・生徒指導関係 ▲4%</li> <li>・遅刻件数昨年度比 20%減少△</li> <li>・人権研修実施○</li> <li>・中学ソフトテニス部全国大会優勝◎</li> </ul>
<p>3 学び連携できる教員集団</p>	<p>ア 授業力向上の取組み</p> <p>イ 各種研修会の実施</p> <p>ウ その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間の設定</li> <li>・先進校訪問の継続</li> <li>・<u>授業アンケートの実施</u></li> <li>・<u>各教科・科目のシラバスの充実</u></li> <li>・若手研修会「雛土」の定期的実施</li> <li>・夏季休業中の外部研修受講</li> <li>・各種研修会（人権、高大連携、新学習指導要領など）実施</li> <li>・生徒の情報共有を進める</li> <li>・学校ウェブサイトの充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各取組みの実施状況</li> <li>・<u>観点別評価にもとづくシラバスの導入</u></li> <li>・若手研修 2か月に1回</li> <li>・外部研修 5人以上参加</li> <li>・「SIEMS」による「<u>生徒カルテ</u>」の作成</li> <li>学校ホームページの更新状況</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業公開週間○</li> <li>・各教科観点別シラバス実施◎</li> <li>・先進校訪問（東北ウルスラ学院など）○</li> <li>・授業アンケートの実施○</li> <li>・若手研修▲</li> <li>・外部研修○</li> <li>・生徒カルテ○</li> <li>・ホームページ刷新◎</li> </ul>

## 平成 31 年度 学校評価について

### 第 1 回外部評価委員会 令和元年 11 月 2 日（土）

参加者：保護者会会長、教育関係者、地域代表、中学校校長、  
学校関係者（校長、教頭、事務長、教務部長、生徒指導部長、進路部長、中学校主事）

内 容：①令和元年度学校教育計画について  
②現状報告

### 第 2 回外部評価委員会 令和 2 年 3 月 28 日（土）

参加者：保護者会会長、地域代表、中学校校長、  
学校関係者（校長、教頭、事務長、生徒指導部長、進路部長、中学校主事）

内 容：①学校教育自己診断総括  
②令和元年度学校教育計画総括  
③学内報告他

学校教育自己診断の結果と分析	外部評価委員会からの意見
<p><b>【中学校・高等学校生徒】</b>                      中学校生徒はほとんどの項目で上昇し、90%以上であった。                      特に、中学校生活に満足している、ロングホームルームや部活動についての満足度は95%以上であった。しかし、学校の施設・設備に満足しているか、および地域や社会の出来事に関心を持っているかが若干低かった。農業体験を中心とした課外活動について、さらに多様な取組みを考える必要がある。                      高等学校生徒は各学年で違った。1 年は概ね昨年より上昇したが、3 年生はほとんどが下がった。特に、先生は質問や相談に丁寧に応じてくれている、およびホームルームが有効に活用されているか、学年としての生徒指導や生徒との関りについて反省し考察する必要がある。</p> <p><b>【中学校・高等学校保護者】</b>                      中学校保護者は概ね昨年と変わらなかった。ただ、日常生活のマナーやルールについて指導が行われている、またホームページなどで情報発信が効果的に行われているが下がった。保護者との連携を密接に図る必要があると思われる。                      高等学校保護者も概ね昨年度と変わらなかった。人権教育について効果的に行われている、およびホームページの情報発信について、昨年度より低かった。</p> <p><b>【教職員】</b>                      昨年度より、年間のシラバスが立てられている、危機管理マニュアルなどの安全対策がとられている、生徒指導で家庭と連携ができていたなど90%以上であった。また、教師間の授業内容の評価・意見交換の機会がある、また校内の研修体制が整っているなどが上昇した。しかし、地域との交流、ごみなどの身近な教育、図書館が利用しやすいか、生徒一人ひとりに応じた進路指導ができていたかなどは昨年度より下がった。重点事項以外の取組みに配慮が行き届いていない。</p>	<p><b>【第 1 回外部評価委員会の意見】</b>                      ・学校教育計画について、ICT 教育は時代の流れである。新コースの文武両道の進学Ⅲや IT フロンティアコースなどに期待している。                      ・中学校の情操教育で城山キャンパスの農業体験はいい取組みだと思う。                      ・現状報告として、学校は生徒指導面や進路指導面でかなり頑張ってくれている。年次ごとに成果が上がってきている。                      ・この前、地域の行事に本校生が参加していたが、挨拶してくれなかったのが残念であった。</p> <p><b>【第 2 回外部評価委員会の意見】</b>                      ・学校教育自己診断について、質問の設定も難しい。子どもの満足度と保護者の結果が遊離しているのは、同じ方向を見ていない、またはコミュニケーション不足も考えられる。                      ・高校の場合、下の学年ほど遅刻数が少なく、満足度も高い。生徒指導での生徒との関りなどが数値に影響しているように思われる。                      ・学校教育計画の総括に対して、概ね結果が上昇した。幹旋就職者は100%内定、介護福祉士国家試験も80%以上で合格した。難関私立大学も一般入試で合格し始めた。概ね計画を達成したのではないかと。                      ・新コースの立上げで人工芝グラウンドや IT 教室の施設整備を行った。成果が上がる事を期待している。                      ・地域にいる者としても、遅刻者が減っている事も実感している。挨拶運動をさらに進めてほしい。                      ・入学式や卒業式で生徒の対応がしっかりできている。                      ・さらに挨拶や化粧などについて指導を進めてほしい。</p>